

# Java読書会BOF活動紹介

財団法人インターネット協会 Java研究部会  
読書会BOF 高橋 徹

2004年12月2日

# 目次

- 講師・読書会略歴
- Java読書会BOFの活動状況
- 読書会のメリット、運営ノウハウ
- Java読書会BOFの書籍書評

# 講師略歴

- 1991年 オブジェクト指向プログラミングと出会う
- 1992年 就職、主としてソフトウェア開発に携る  
オブジェクト指向とはほど遠い仕事のため、  
ほそぼそと独学
- 1996年 Javaと出会い、個人的に使い始める
- 1997年 Javaを仕事で使い始める
- 1998年 この年最初のJava読書会が開催
- 2000年 Javaを仕事で使い終わる  
以後は組込系C/C++、大規模C++  
新人向け社内教育の講師でJava使用

# Java読書会略歴

- 1998年12月～現在まで、ほぼ毎月1回開催
- 課題図書
  - Peter CoadによるJavaオブジェクト設計
  - Java仮想マシン仕様
  - Javaの格言
  - Javaスレッドプログラミング
  - Java言語で学ぶデザインパターン入門
  - Effective Java
  - リファクタリング
  - More Java Pitfalls
  - EJBデザインパターン
  - UMLモデリングの本質
  - アジャイルソフトウェア開発の奥義

# Java読書会BOFの活動状況

- Java読書会BOFの活動状況
  - 活動状況概要
  - 1日の活動の様子
  - 1冊の活動の様子
  - 今までの活動の様子
- 読書会のメリット、運営ノウハウ
- Java読書会BOFの書籍書評

# Java読書会の活動状況概要

- いつ？
  - 毎月1回土曜日 日中(10時～17時)に開催
- どこで？
  - 公共施設の会議室を利用
- だれと？
  - 20代～40代の主にソフトウェア開発関係を職業とする人々
- いくら？
  - 無料、初期の頃は実費(数百円/人)
- どのくらいの人数？
  - 2人～30人、平均11人
- どのくらいで1冊の本を読み終わる？
  - 4回～11回、平均6回

# Java読書会の1日の活動

- 参加者自己紹介
- 読み手(複数)、書記係(1人)を選出
- 読み手が書籍を朗読し、随時質疑・議論を実施
- 書記係が議論の要旨をメモ
- 夕方、区切りのよいところで1日のセッション終了
- 有志による2次会を実施

# Java読書会の1日の活動



# Java読書会の1冊の活動

- 課題図書を選定
  - メールングリストでの告知とWeb上での投票
- 会場の確保
  - 公共施設の会議室を確保
- 参加者募集
  - Java関係メールングリスト各所に案内
- 読書会の開催
  
- Webサイトの更新
  - 案内および議事録

# 読書会課題図書選定 (Web)

Best 5

順位

1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書名: アジキイロソフトウェア開発の奥義</li><li>・ 著者: ロバー・トーマス・Pitt</li><li>・ 訳者: 藤谷 晋介</li><li>・ 出版社: ソフトウェア開発の奥義</li><li>・ 価格: ¥8,000</li><li>・ ISBN: 7873 3030 1</li><li>・ <a href="#">在庫状況を確認する</a></li></ul>	在庫
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書名: Effective Enterprise Java</li><li>・ 著者: Ted Neward</li><li>・ 訳者:</li><li>・ 出版社: Addison-Wesley</li><li>・ 価格: \$44.00</li><li>・ ISBN: 0 201 10930 0</li><li>・ <a href="#">在庫状況を確認する</a></li></ul>	在庫
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書名: 軽快な Java Better, Faster, Lighter Java</li><li>・ 著者: Bruce A. Tice</li><li>・ 訳者: 吉谷 勉</li><li>・ 出版社: 1544-13497</li><li>・ 価格: ¥3,940</li><li>・ ISBN: 4 8 0311 201 2</li><li>・ <a href="#">在庫状況を確認する</a></li></ul>	在庫
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書名: Java魂 — プログラミングを極める匠の技</li><li>・ 著者: Robert S. Strauss</li></ul>	

完了

# 開催案内と申し込み (Web)

Java読書会のページ

■お問い合わせ先 [連絡先](#)

【主催者への応募 申し込み書】  
[「読書会BOPメールリンクリストへ」](#)

---

## 「アジャイルソフトウェア開発の奥義」 を読書会 第2回 開催のお知らせ

■新しい課題図書のご投票は終了いたしました  
■[投票結果は?](#)

---

◆What's New!!

- 2004-11-14:新しい課題図書が「アジャイルソフトウェア開発の奥義」に決定しました
- 2004-11-05:高橋徹哉さんのBOP代表の [Internet Week 2004](#) での開催が決定しました
- 2004-10-27:課題図書のご投票締切日を11月13日(土)に決定しました
- 2004-10-27:課題図書ご候補に Java魂 を追加しました

---

日時:12月25日(土) 10:00~17:00  
場所:高津市民館 第6会議室  
参加要領:定員50名  
地図: <http://www.cmc.laws.nctu.edu.tw/88/88message/home/main.htm>  
最新: [高津市民館 第6会議室](#) / [高津市民館 第6会議室](#) / [高津市民館 第6会議室](#)

# 読書会議事録(Web)

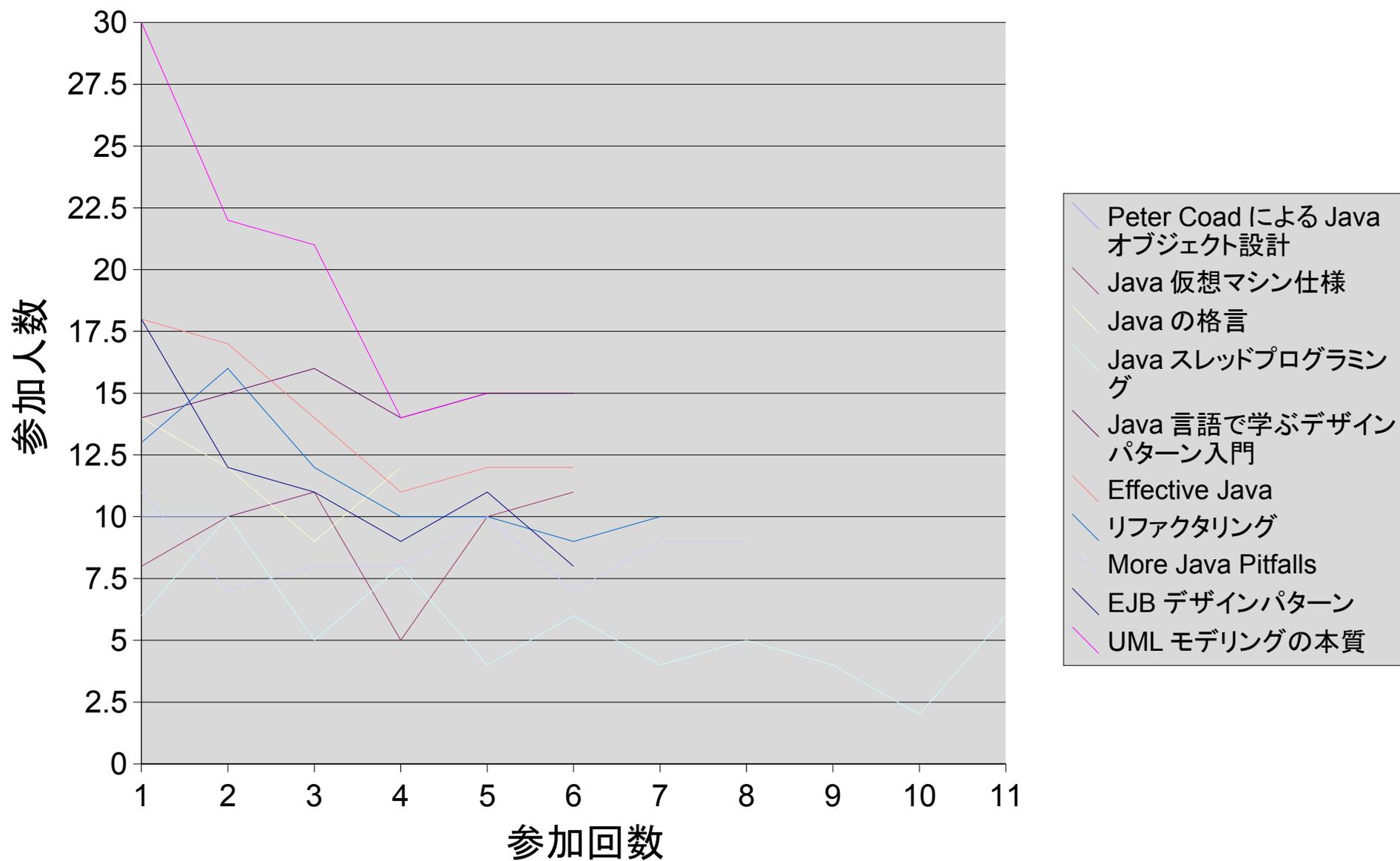
読書会BOF - Mozilla Firefox

http://www.java-reading.com/bof/

最近行った読書会の議事録

<b>アジヤナルソフトウェア開発の典義</b>	著者:ロバート・C・マーティン 訳者:瀬谷 啓介 出版社:ソフトバンクパブリッシング 定価:¥5,000 ISBN:4-7973-3888-1
▶ <a href="#">読書会アジヤナルソフトウェア開発の典義(第1回議事録)</a> <b>Now!!</b>	
<b>UMLモデリングの本質</b>	著者:児三 公博 訳者: 出版社:No.1 Books 定価:¥2,500 ISBN:4-7973-3888-1
▶ <a href="#">読書会UMLモデリングの本質(第1回議事録)</a> ▶ <a href="#">読書会UMLモデリングの本質(第2回議事録)</a> ▶ <a href="#">読書会UMLモデリングの本質(第3回議事録)</a> ▶ <a href="#">読書会UMLモデリングの本質(第4回議事録)</a> ▶ <a href="#">読書会UMLモデリングの本質(第5回議事録)</a>	
<b>UMLモデリングの本質</b>	著者:Ken Koushida 訳者:ソフトバンクパブリッシング 出版社:No.1 Books 定価:¥2,500 ISBN:4-7973-3888-1

# 読書会の参加人数推移



# Java読書会の今まで

- きっかけ
  - Java互助会ML(えんどうやすゆき氏主宰)にて読書会の呼びかけが行われ開始。1998年末。
- Javaカンファレンス読書会BOF
  - 会場確保問題からJavaカンファレンスのBOFとして活動開始。1999年。
  - その後、JavaカンファレンスがIAJ Java部会に移り、今に至る

# 会場確保問題

- 会場確保問題
  - 初回の逸話：喫茶店を途中で引取り願われ、カラオケ屋で継続
  - 学校・会社等組織の施設利用は難しい
    - ・ 休日の利用、不特定多数の利用
  - 民間施設は利用料が高い
  - 結局は公共施設の利用に落ち着く
    - ・ 予約/申し込みの手間はかかる
    - ・ が、昨今電子化が進み、空き情報・予約がオンライン化され、負担は軽減されてきている

# 読書会のメリット・運営

- Java読書会BOFの活動状況
- 読書会のメリット、運営ノウハウ
  - 読書会のメリット
  - 継続の理由
  - 読書会HOWTO
- Java読書会BOFの書籍書評

# 読書会のメリット

- 本を隅から隅まで読める
  - 謝辞を読みます
  - 独りでは読み飛ばす部分もしっかり読めます
  - 確実に読書時間を得られます
- 本の理解が深まる
  - その場で質疑応答して解決できます
  - 他人の質問に新しい発見があります
  - 議論によって参加者の経験・知識・洞察を得られます
- 技術者交流の場でもある

# 読書会が今まで続いている理由

- 開催を中止したことがない
  - 2人でも読書会を実施
- 会場の確保を続けることができた
  - 点々としながらも・・・
- 必ず議事録を残している
  - 検索に引っ掛かる
- 参加費無料（初期は実費：ジュース代程度）
- 参加は自由で事前準備不要（洋書は例外）
- 無断欠席もOK
  - 参加の敷居が低い
- Javaの流行が一時的ではなかった
- 宴会が楽しい

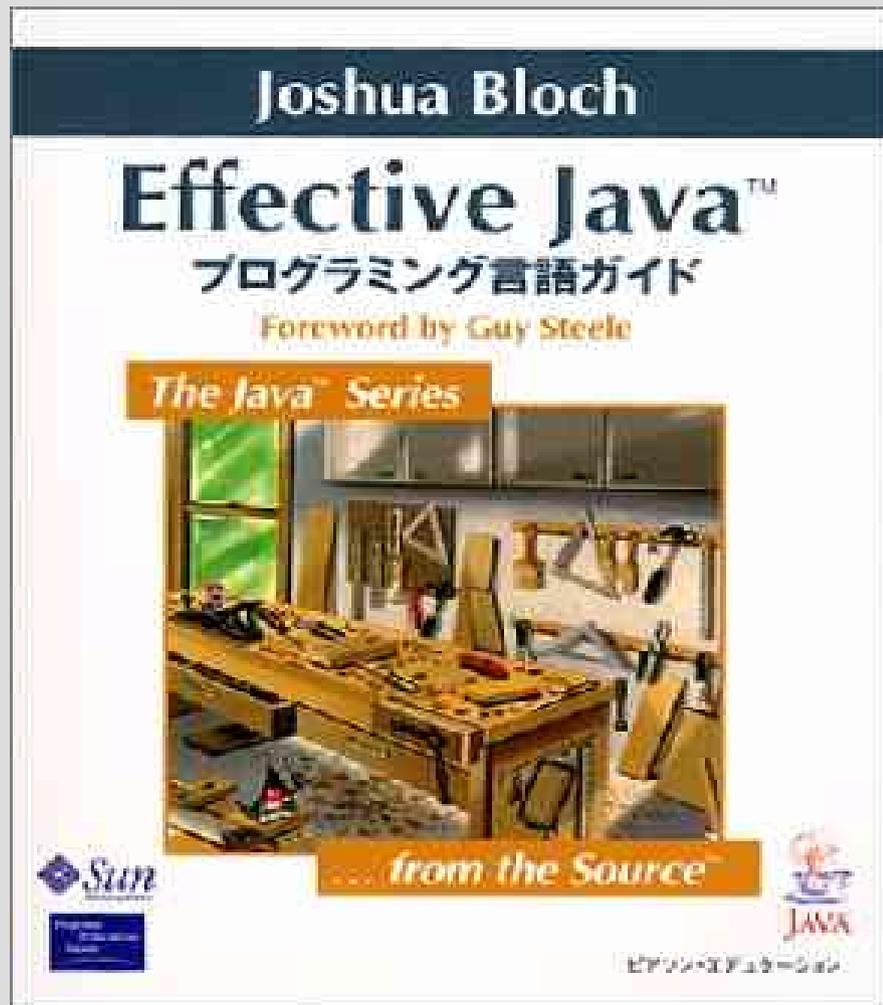
# 読書会 MINI-HOWTO

- 読書会創始者えんどう氏がまとめたHOWTO
  - 読書会の利点
  - 読書会を開こうー読書会MINI-HOWTO
  - どんな本が読書会に向いているか？
  - 読みたい本を投票しよう
  - 会場を確保しよう
  - 読書会を知らせよう
  - 申し込みを受け付けよう
  - 読書会のやり方
  - 議事録を書こう
  - 宴会を開こう
- URL  
<http://www.javaopen.org/jfriends/howto/>

# 読書会による書評

- Java読書会BOFの活動状況
- 読書会のメリット、運営ノウハウ
- Java読書会BOFの書籍書評
  - Effective Java
  - Peter CoadによるJavaオブジェクト設計
  - Javaスレッドプログラミング
  - UMLモデリングの本質
  - 読書会向きの本とは

# Effective Java



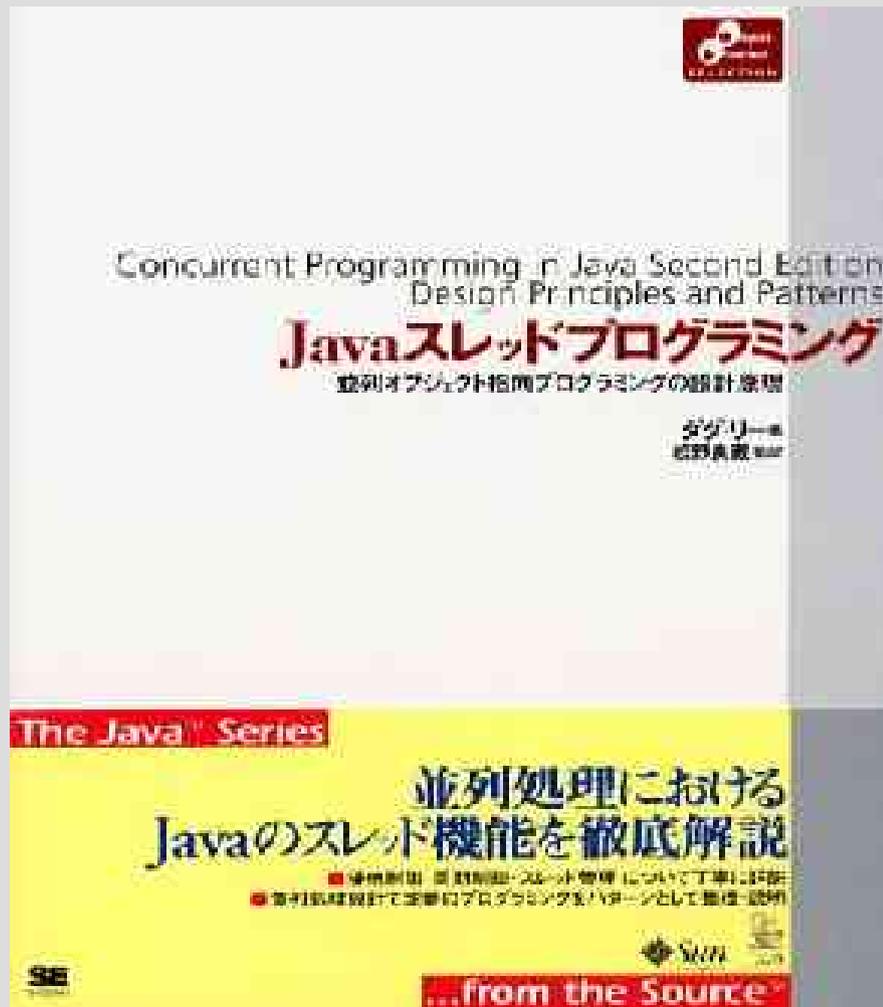
- Java読書会のなかでも最もよいという声が多かった
- 噛むほど味がでる

# Peter Coadによる Javaオブジェクト設計



- 「継承よりもコンポジション」、「Interfaceの重要性」を解説している
- スレッドの設計、タイマ通知（ポーリング）、能動通知といった制御系に必要な要素を扱っている

# Javaスレッドプログラミング



- あまりに難解
- 実は並列処理(高速化技術)を扱っていない

# UMLモデリングの本質



- UMLモデリングの本質を学べた気がしない
- UMLとJavaの設計とは隔たりがある

# 読書会向きの本

- 難解な本
  - 背景となる技術知識が必要なもの
  - 解釈が難しいもの
- 議論をよぶ本
  - 味わい深い内容のもの
  - 著者に異論のあるもの
- 読むのが辛い本
  - 仕様書の類

# 最後に

- 継続的に学習するフレームワークとしての読書会
  - 実装例: Java読書会BOF
- 本の読み方
- Java読書会BOFの URL  
<http://www.javareading.com/bof/>